

こどもの育ちが
豊かになるように…

～ときのはで大切にしていること～

ときのはこども園



ときにはこども園では子どもたちが安心して生活を送れるよう、子どもたちの姿に寄り添い一人ひとりの気持ちを大切にしながら保育を行っています。

いつも同じ先生との関りをもつ育児担当制や、毎日同じ生活リズムを繰り返し過ごすことで、子どもたち自身が生活に見通しを持てると安心感や自信に繋がり周りへの興味が広がりなんだこれ?→やってみたい!(やってみよう)の気持ちが生まれます。その姿を保育者が近くで見守り、見てたよ、出来たね、と認めてもらうことで自信を持って色々な事をしてみようと思える。その繰り返して心が育っていくと考えています。

0歳児 めばえ

なんだか居心地がいいなあ



なんだか居心地がいいなあ

…毎日変わらない生活の流れや同じ保育者との関わりの繰り返して安心して過ごせるようにしていきます。入園当初は泣いていた子どもも同じ先生と関り、一緒に生活を過ごすなかで、お腹空いたや眠たいなどの欲求を丁寧に受け止めてもらい、満足感ややすらぎを感じながらゆったりと過ごせるようになります。

0歳児 めばえ

見つけた!できた!



見つけた!できた!

…安心して過ごせるようになると、自分のまわりの環境にも目が向くようになります。子どもたちの色々な発見を見逃さず、その都度きちんと目を合わせ「見ていたよ」「楽しいね」と共感します。そして、さらなる遊びのわくわくや「もう一回してみたい!」という気持ちの芽生えをサポートします。

1歳児 ふたば

これなんだ!?面白い!



これなんだ!?面白い!

…視野がどんどん広がり、探索活動が盛んになる時期です。遊びでも生活でも「自分でやりたい」という気持ちが増えてきます。

食事のエプロンを、はじめは先生につけてもらいますが、子ども自ら手をのばし、やってみようとする姿が増えます。さりげなく援助することを繰り返し、徐々に自分でできるようになっていきます。“自分でしてみたい”と思ったときにできるよう、日々環境を整え、時間を確保することも考え保育しています。

1歳児 ふたば

ぼくの!わたしの!



ぼくの!わたしの!

…成長と共に自分以外の誰か(保育者、友だち)への関心も増していきます。自他がわかるようになり「自分の!」と主張することも増えます。その成長も喜び、気持ちを十分に共感しながら、簡単なやりとりを通して関わりを深め 好奇心や興味、刺激に繋がっていきたいです。

2歳児 あおば

みてみて!



みてみて!

…自分でできること、やりたいことが増えていきます。その為、保育者は、やろうと思ったときにやりやすい環境を整えます。そして、自分が見たものやできた事を自分以外の誰かに見てほしいという気持ちも大いに発信してくれるようになります。時には手伝ってもらいたい時もあります。どんな気持ちでも子どもが十分出せるよう、保育者は子どもの気持ちを、うけとめ、よりそい、時には見守ります。そして安心してもらおうことで →「次のやってみようへ」繋げています。

※トイトレは個人に合わせて お家の方と相談しながら進めます。

2歳児 あおば

何してるの？



何してるの？

…横でおなじあそびしてるをしている友だちと共感する姿も見られます。おもちゃを介してのやりとりの中で、見たて、ごっこが見られます。友だち同士の関わりがたくさんできるように、あえて子ども同士の遊びを見守ったり、より遊びを発展できるようにきっかけを作ったりしていきます。子どもたちは友だちとの関わりの楽しさがわかり始め、「ことば」でのやりとりが増えていきます。

3歳児 つぼみ

わくわく・ドキドキ



3歳～5歳は異年齢児クラス

わくわく

…できることが増え「あれ楽しそう」「これやってみたい!」等いろんなことに興味を持って見たり、参加したりして楽しめます。日々の生活の中で年上の子へかっこよさや憧れを抱くようになります。「お兄ちゃんたちがやってるポーズ、やってみたい」と挑戦している姿が、右側の写真です。同じ事が出来たら自信につながり、出来なくても「みのりさんになったらあんなことも出来るんだ」とさらに憧れや期待感が強まります。

ドキドキ

…自分の思いを言葉で表現する楽しさが分かり「やってみたい!」「なんだろう」等感じたり思ったことを発信し、友だちとの言葉でのやりとりがスムーズになってきます。子どもたちが円になっている写真は、毎朝行う「サークルタイム」の様子です。話をするだけでなく、話を聞くお友だちも、耳を傾け、相槌や返事をしたり、拍手で「話してくれてありがとう」を伝えたりが自然に出来るようになってきています。

3歳児 つぼみ

どんどんしたい!



どんどんしたい

…少しずつ身の回りのことができるようになってきたり、お家の人や年上の友だちがしていることに興味を持ち、やってみたい気持ちがどんどんでてきます。「つぼみさんになったんだ、もうお兄ちゃんお姉ちゃんの仲間入りなんだ」と日々自立心を育てている子どもたちです。ベストを掛けたり、帽子を挟んだり、今までは手伝ってもらっていたことも、「出来ることは自分で」「お兄ちゃんお姉ちゃんたちと同じことをやってみたい」と興味を持ち、真似をしていくことで出来ることがどんどん増え、自信や満足感、達成感を育てていきます。

つぼみさんではスプーンをすくい持ちと言った好ましい形で持てるように見守っていきます。「どんどんしたい」気持ちは受け止めつつも、お箸への移行は子どもたちの手先の成長のペースに合わせてながら移行していきます。

4歳児 おはな

これどうぞ



友だちと会話をしながら…



これどうぞ

…友だちの思いに気づき「〇〇だけど〇〇する」という自分の気持ちをコントロールし、譲ることができるようになります。
ブロックを手に笑顔の写真、この笑顔の前には、同じ形が使いたくなり、2人が同じタイミングで同じブロックに手を伸ばし「これ、使いたい!」の言い合いになる場面がありました。するともう一人の子が、同じ色の同じ形を見つけ2人に手渡してくれました。その後からは、お友だちの探している様子や言葉を聞くと、一緒に探したり、自分が作っていた物を手渡したりと、みんなでの譲り合いが始まりました。してもらって嬉しかったことや、こうしたら相手は嬉しいかな?を考え遊べるようにもなっていくんですね。

4歳児 おはな



できた!
もっとしたい

できた!もっとしたい

…成功と失敗の経験を通して、失敗した自分を受け入れ、諦めずに取り組むことで達成感や自信へと繋がっていきます。

お隣のおとのは学園にあるうんていを、年上の子どもたちが一緒の時は様子を見るだけの子どもたち。3歳児の子どもたちだけで遊んだときの写真が右側の写真です。年齢が近い子ども緒姿に刺激を受けて、やってみる→できた!→こんどは〇〇してみよう!→できた、たのしい!と感じ、さらに過ごす時間が増えると、友だちと一緒に楽しいと感じていくようになります!

5歳児 みのり

自分で考えて
やってみよう!



自分で考えてやってみよう!

…5歳児になると自分で考え、自分で決めて行動する力の基礎が育っていきます。

5歳児みのりさんでは大きな行事「デイキャンプ」があります。そこでは、みのりのみんなにとっての特別な1日にするために、子どもたちと「みんなにとっての特別ってなに?」というところから子どもたちとどんなことをしたいか、どうやったらできるか、考えながら準備をします。まずはみんなの考えを出し合います。様々な案が出るところを職員が整理して、最終どんなものにするか、何を使うかは子どもたちが決めます。写真の映画館を作り上げていく時にはお話の内容のペープサートも、1からすべて子どもたちが作りました。それだけでなく、映画館の暗さやチケットがあることなども実際に行ったことのある子の意見も踏まえて、チケットや広告作りも行っていました。そして、当日は年下の子どもたちに遊びに来てもらい、案内したり、優しく説明したりと、年長児ならではの姿がたくさん見られます。

5歳児 みのり

何でも挑戦!



何でも挑戦!

…まずは自分からしてみたいと思うことを楽しんで取り組めるようにし、最後まで諦めない強い心を育てていきます。誰かに言われてするのではなく、子どもたちが自らやってみたい!と思えるような環境づくりや働きかけを日々心掛けています。ある女の子は初めは少し苦手だと感じていたサッカーですが、他のお友だちが毎日のようにサッカーをしている様子を見て、少し興味が出たようで少しずつ「できた!」が積み重なり、小さな「できた」が次の「もっとやってみたい!」という意欲や自信に繋がっている姿が印象的でした。このような姿を期待して、私たちも日々保育をしています。

5歳児 みのり

思いやりの心



思いやりの心

…友だちと話し合いをする中で自分の思いを受け入れられる経験を通し、相手の思いを受け入れ、協力し認め合える関係を築いていきます。日々の生活を通して、様々な経験や感情を共にするお友だちの存在を認め、受け入れていきます。それぞれが認め合うことで互いを尊重し、思いやる心を育てていきます。

日々生活している中で、虫を捕まえるのを年下の子の代わりにしたり、収穫したものを一緒に数えたり、相手が難しいことを手伝ったりと、異年齢保育を通して、今までのみのりさんにしてきてもらったことが自然と子どもたちにも伝わっているんだなと感じます。

ひとりひとりを大切に…

いろんな経験から育つ力を…

愛情をもって…

見守る

認める

励ます

助ける



繰り返しにはなりますが、
子どもたちの姿に寄り添い一人ひとりの気持ちを大切にしたい保育をおこな
なっていきます。

そして、様々な経験を通して一緒にチャレンジし、子どもたちの自信や勇
気へと繋げていきたいと思ひます。